

Manuel Rocheman Bio

マヌエル・ロシュマン 履歴

<http://manuelrocheman.com/>

1964年7月23日生まれ

マヌエルは音楽一家出身。母方の祖母がピアノ教師、父方の祖父はフルート奏者。母はチェロとビオラを演奏し、叔母はバイオリンを弾く。父のリオネル・ロッシュマン（ギター奏者、俳優）はパリのアメリカン・センターに「フーテナニー」（飛び入り音楽ショー）を設立した人物。そこには、世界中からパフォーマーがやって来た。10歳の時、兄からオスカー・ピーターソンのソロ演奏のレコード「トラックス」をプレゼントされる。マヌエルは10歳にしてすでに4年のピアノ歴があった。

オスカー・ピーターソンというカナダ出身の巨匠の楽曲に触れ、ジャズという音楽言語のハーモニーとリズムに完全に打ちのめされたマヌエルは、ジャズに大きな自由を感じて同じ道に進むことを決意。12歳でピアニスト、ボブ・ヴァテルにパリのジャズクラブでの飛び入り演奏の招待を受ける。技術研鑽をめざしパリ国立音楽院に入学。そこで、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリの数少ない弟子の一人、アルベルト・ノイマンに出会う。ノイマンの指導のもと、ピアノ技術を大いに向上させ、同時に、作曲法とパーカッションも学ぶ。平行してジャズピアニスト、ガブリエル・ガルヴァノフとミシェル・サルダビーにも師事。

1980年、ニューヨーク滞在中、トミー・フラナガンとジャッキー・バイアードに出会い、影響を受ける。彼らとの親密な交流は、二人が他界するまで続いた。同年ボブ・ヴァテルからマーシャル・ソラルを紹介され、マヌエルは、マーシャル唯一の弟子となった。

1983年、パリでトリオとしてプロ活動を開始。1984年、パリ・ジャズ・フェスティバルでマーシャル・ソラルと2台のピアノを演奏し、その後、次々に演奏依頼が舞い込む。

ジャズ界は彼の計り知れない才能をすぐに認め、1989年には、マーシャル・ソラル・ジャズピアノ国際コンクールで優勝。デビューCDの「トリオ・アーバン」がアカデミー・ド・ジャズの最優秀ディスク賞を受賞。1992年には、2枚目のCD「ホワイト・キズ」でフランスの最優秀ディスクに贈られる「ジャンゴ・ドール賞」を受賞した。

フランスジャズシーンの数少ないスポンサー、BNPパリバ銀行財団は、マヌエルの性格と才能を見込んで、1995年から2002年まで彼のキャリア発展をサポート。1998年にはアカデミー・ド・ジャズのジャンゴ・ラインハルト賞の最優秀音楽家賞を受賞。

トリオやソロ、またはオリヴィエ・ケル・オウリオやサラ・ラザラスとのデュオなど、マヌエル・ロシュマンは、今日、最も素晴らしいピアニストの一人とされ、リック・マーギツァからシルヴァン・ブーフ、ドラマーではアル・フォスター、アルド・ロマーノ、ベース奏者ではジョージ・ムラーツ、カイル・イーストウッドなど、多くの有名奏者からの共演要請がある。また、国立ジャズオーケストラから作曲依頼を受け、国立ジャズオーケストラとモンペリエ管弦楽団のために「サン・フェリペ」を作曲した。

マヌエルは、自身のアルバムで作曲の才能を発揮している。特に、2人の巨匠、ベース奏者のジョージ・ムラーツ、ドラマーのアル・フォスターとニューヨークでレコーディングしたアルバム、「アイム・オールド・ファッションド」、そして、同じくベース奏者スコット・コリー、ドラム奏者アントニオ・サンチェスとレコーディングした「カクタス・ダンス」は注目に値する。

2010年にリリースされたアルバム、「ザ・タッチ・オブ・ユア・リップス（あなたの唇の感触）」-ビル・エヴァンスへのトリビュートで、マヌエルはこう話している。「ビル・エヴァンスの音楽はいつも私にインスピレーションを与えてくれた。私は、この偉大な音楽家に自分自身ならではのタッチを加えた成熟し

たプロジェクトを捧げることで敬意を評したい。私は、模倣するのではなく、ずっと前から彼に影響を受けつつづけていて、今、成熟したすべての音楽を再構築することによって、静かに敬意を表したいのだ。」

彼の最新アルバム「カフェ&アレグリア」は、伝説のギタリストで作曲家のトニーニョ・オルタが共演し、ブラジルでレコーディングされた。「私にとってブラジルツアーでトニーニョ・オルタに会えたことは大きな喜びだった。長年彼のファンだったので、すべてはシンプルだった…。私はこのレコードがとても気に入っている。私はブラジル音楽の大ファンなので、自分にとってこれは大きなステップだった。このアルバムの構想は、たくさんの感情がこもったマジカルなものだった。トニーニョはこのプロジェクトに非常に入れこみ、このアルバム制作に関して特別な配慮をしてくれた。結果は夢のように、思った以上の出来で、永遠の音楽の喜びと、とても深い感情が込められている。」

偉大なブラジル音楽家、トニーニョ・オルタとのコラボ、サクソ奏者リック・マーギツァが参加したこの作品はマニユエルに作曲という面で大きな影響を与えたプロジェクトだった。

主なコンサート

フランス国内

Radio-France	ラジオ・フランス
Auditorium du Châtelet	シャトレ・デュ・オーディトリウム
Cité de la Musique (Paris and Marseille)	シテ・ド・ラ・ミュージック (パリ、マルセイユ)
Salle Gaveau	サル・ガボール
New Morning in Paris with George Mraz and Al Foster	
ニュー・モーニング・イン・パリ・ウィズ・ジョージ・ムラーツ&アル・フォスター	

出演フェスティバル

Festival de Jazz de Paris	フェスティバル・ド・ジャズ・ド・パリ
Festival de Radio-France et de Montpellier	フェスティバル・ド・ラジオ・フランス・エ・ド・モンペリエ
Festival d'Antibes Juan-les-Pins	フェスティバル・ダンディーブ・ジュアン・レ・パン
Grande Parade du Jazz in Nice	グランド・パレード・デュ・ジャズ・イン・ニース
JVC Halle that Jazz	JVC アール・ザット・ジャズ
Festival de Cannes	フェスティバル・ド・カンヌ
NJP	NJP
Jazz sur son 31	ジャズ・シュール・ソン・31
Jazz en Baie	ジャズ・アン・ベー
Capbreton Jazz Festival	キャブブレトン・ジャズ・フェスティバル
Copenhagen Jazz Festival	コペンハーゲン・ジャズ・フェスティバル
Savassi Jazz Festival	サヴァッシ・ジャズ・フェスティバル

マニユエルは世界 30 カ国以上をツアー。多くのジャズフェスティバルに出演している。メジャーなものでは、メキシコのフェスティバル・セルヴァンティーノ、ウルグアイのプンタ・デル・エステ、またカナダでは、バンクーバー、トロント、モントリオール、オタワで出演している。アメリカでは、自身のトリオでマイアミ、ニューオーリンズ、デンバー、シカゴ、ノックスビル、ミネアポリスなど各地で演奏。ヨーロッパでは主要なジャズフェスティバルにはほとんど出演。南アメリカでは各地をツアーしている。

共演者

Toninho Horta	トニーニョ・オルタ
Anthony Ortega	アンソニー・オルテガ
Kyle Eastwood	カイル・イーストウッド
Al Foster	アル・フォスター
George Mraz	ジョージ・ムラーツ
Antonio Sanchez	アントニオ・サンチェス
Scott Colley	スコット・コリー
Rick Margitza	リック・マーギツァ
Chuck Israels	チャック・イスラエルズ
Olivier Ker Ourio	オリビエ・ケル・オウリオ
Didier Lockwood	ディディエ・ロックウッド
Jean-Luc Ponty	ジャン・リュック・ポンティ
Victor Lewis	ヴィクター・ルイス
Jean-Loup Longnon	ジャン・ループ・ロングノン (ロンニオン)
Teddy Edwards	テディ・エドワーズ
Johnny Griffin	ジョニー・グリフィン
Bill Mobley	ビル・モブリー
Rich Perry	リッチ・ペリー
Sylvain Beuf	シルヴァン・ブーフ
Peter Erskine	ピーター・アースキン
Dusko Goykovich	ダスコ・ゴイコヴィッチ
Michel Legrand	ミッシェル・ルグラン
Eddie Gomez	エディー・ゴメス
Eddie Henderson	エディー・ヘンダーソン
André Ceccarelli	アンドレ・チェッカレリ
Aldo Romano	アルド・ロマーノ
Sara Lazarus	サラ・ラザラス
Charles Aznavour	シャルル・アズナブール
Patrice Caratini	パトリス・カラティーニ
Greg Tardy	グレッグ・ターディ

ディスコグラフィ

主演作

« Paris-Maurice » 2014 Berlioz Productions with Nadine Bellombre

「パリーモーリス」2014年 ベルリオーズプロダクションズ、共演：ナディーヌ・ベロンブル

« Café & Alegria » 2012 Naïve with Toninho Horta

「カフェ&アレグリア」2012年、ナイーブ、共演：トニーニョ・オルタ

« The touch of your lips » 2010 Naïve with Mathias Allamane and Matthieu Chazarenc

「ザ・タッチ・オブ・ユア・リップス」2010年、ナイーブ、マシアス・アラマン&マチュー・シャザレンク

"Cactus Dance" 2007 Nocturne with Scott Colley and Antonio Sanchez

「カクタス・ダンス」2007年、ノクターン、スコット・コリー&アントニオ・サンチェス

"I'm Old Fashioned" 2000 Columbia/Sony with G.Mraz/ A.Foster/ R.Del Fra/ S.Goubert
「アイム・オールド・ファッションド」2000年、コロムビア/ソニー、ジョージ・ムラーツ、アル・フォスター、

"Come shine" 1998 Columbia/Sony with George MRAZ and AI FOSTER.
「カム・シャイン」 1998年 コロムビア/ソニー、ジョージ・ムラーツ、アル・フォスター

"Tropic City" 1996, A-Records with Christophe WALLEMME and Simon GOUBERT
「トロピック・シティ」1996年、Aレコード、クリストフ・ワレムム、シモン・グベール

"White Keys"1992 Nocturne Productions with François and Louis MOUTIN
「ホワイト・キイズ」1992年、ノクターン・プロダクションズ、フランソワ&ルイ・ムータン

"Trio Urbain" 1990 Nocturne Productions with François MOUTIN and Peter GRITZ
「トリオ・アーバン」1990年、ノクターン・プロダクションズ、フランソワ・ムータン、ピーター・グリツ

ソロ

“ Live au New Morning ” DVD 2004 RDC Records
「ライブ・オー・ニュー・モーニング」DVD 2004年、RDCレコード

“ Alone at last ” 2003 RDC Records
「アローン・アト・ラスト」2003年、RDCレコード

サイドマンとして参加したレコーディング

Adrian OROPEZA “Amaneceres” 2015 Animalito Records
アドリアン・オルペーザ 「アマネセレス」2015年、アニマリートレコード

Mélanie DAHAN « Keys » 2014 Backstage Productions
メラニー・ダハン 「キイズ」2014年、バックステージ・プロダクションズ

Bill MOBLEY « Black Elk’s Dream » 2013 Space Time Records
ビル・モブリー 「ブラック・エルクス・ドリーム」2013年、スペースタイムレコード

Kevin Reveyrand « World Songs » 2013 KRP
ケビン・レベイランド 「ワールド・ソングズ」2013年、KRP

Marius APOSTOL « Bohemian Jazz Project » 2012 City Records
マリア・アポストル 「ボヘミアン・ジャズ・プロジェクト」2012年、シティレコード

CARATINI Jazz Ensemble “Latinidad” 2009 Chant du Monde
カラティーニ・ジャズ・アンサンブル 「ラティニダード」 2009年、シャン・デュ・モンド

Tomomi HAMASUNA « Le Café » 2008 Templa Records
浜砂伴海 「ル・カフェ」 2008年、テンプラレコード

CARATINI Jazz Ensemble/Hildegard WENZLAWE "De l'amour et du réel" 2008 Chant du Monde
カラティニ・ジャズ・アンサンブル/ヒルデガルド・ワンズラウ 「ド・ラムール・エ・デュ・レエル」
2008年、シャン・デュ・モンド

Olivier KER OURIO « Oversea » 2007 Dreyfus Jazz
オリビエ・ケル・オウリオ 「オーバーシー」 2007年、ドレイフュス・ジャズ

Jacques VIDAL « Mingus Spirit » 2007 Nocturne
ジャック・ヴィダル 「ミンガス・スピリット」 2007年、ノクターン

Laurent NAOURI « Round about Bill » 2007 Sisyphe
ローラン・ナウリ 「ラウンド・アバウト・ビル」 2007年、シシフ

Dusko GOYKOVICH "A Handful O' Soul" 2005 Enja Records
ダスコ・ゴイコヴィッチ 「ア・ハンドフル・オ・ソウル」 2005年 エンジャレコード

Vladimir COSMA with Orchestre National de Lyon 2005 Pomme Music
ヴラディミール・コスマ・ウィズ・国立リヨンオーケストラ 2005年、ポンム ミュージック

Kyle Eastwood "Paris Blue" 2005 Candid Records
カイル・イーストウッド 「パリ・ブルー」 2005年、キャンディレコード

Jacques Vidal "Sans Issue" 2005 Nocturne
ジャック・ヴィダル 「サン・イシュー」 2005年、ノクターン

Caratini Jazz Ensemble "From the Ground" 2004 Chant du Monde
カラティニ・ジャズ・アンサンブル 「フロム・ザ・グラウンド」 2004年、シャン・デュ・モンド

François RABBATH "In a sentimental mood" 2004 King Records
フランソワ・ラバット 「イン・ア・センチメンタル・ムード」 2004年、キングレコード

AKIKO "Girl Talk" 2001 Verve
akiko 「ガール・トーク」 2001年、ヴァーヴ

Sylvain BEUF Quintet "Soul Notes" 2001 Naïve
シルヴァン・ブーフ・クインテット 「ソウル・ノーツ」 2001年、ナイーブ

Jacques VIDAL "Saida" 2001 Shaï Records
ジャック・ヴィダル 「サイーダ」 2005年、シャイレコード

Jacques VIDAL "Ramblin" 1999 Shaï Records
ジャック・ヴィダル 「ランブラン」 2005年、シャイレコード

Sylvain BEUF Quintet "La danse des InterNotes" 1999 RDC Records
シルヴァン・ブーフ・クインテット 「ラ・ダンス・デ・インテルノーツ」 1999年、RDCレコード

Rhapsody in Blue ,Variations I got Rhythm for Piano and Orchestra de G.GERSHWIN with
l'ensemble Opus 16 1997 K 617
アンサンブル・オープス16 「ガーシュインのピアノとオーケストラのためのラプソディー・イン・ブルー、バリエーション・アイ・ガット・リズム」 1997年、K617

Jacques VIDAL "Traverses" 1996 Quoi De Neuf Docteur
ジャック・ヴィダル 「トラヴェルス」 2005年、クワ・ド・ヌフ・ドクトゥール

Anthony ORTEGA "Neuf" 1994 Evidence
アントニー・オルテガ 「ヌッフ」 1994年、エヴィデンス

Anthony ORTEGA Quartet "On Evidence" 1992 Evidence
アントニー・オルテガ・カルテット 「オン・エヴィデンス」 1994年、エヴィデンス

Didier LEVALLET Tentet "Générations" 1992 Evidence
ディディエ・ルヴァエ・テンテット 「ジェネラシオン」 1992年、エヴィデンス

13th Jazz Hoelaart International Europ' Jazz Contest 1991 B.Sharp Records
第13回ジャズ・フーイラート・インターナショナル・ヨーロッパ・ジャズ・コンテスト 1991年、B.シャープレコード

Gil Evans/Laurent Cugny Big Band Lumière "Rhythm-a-ning" 1988 Emarcy
ジル・エヴァンス/ローラン・キュニー・ビッグ・バンド・リュミエール 「リズム・ア・ニング」 1988年、エマルシー

影響を受けた音楽家

Oscar Peterson	オスカー・ピーターソン
Martial Solal	マーシャル・ソラル
Phineas Newborn Jr	フィニアス・ニューボーン・Jr
Bill Evans	ビル・エヴァンス
Keith Jarrett	キース・ジャレット
Tete Montoliu	テット・モントリウ
Clare Fischer	クレア・フィッシャー
Michel Petrucciani	ミシェル・ペトルチアーニ
Wayne Shorter	ウェイン・ショーター
George Benson	ジョージ・ベンソン
Chick Corea	チック・コリア
Bach	バッハ
Chopin	ショパン
Scriabine	スクリアピン
Ravel	ラベル
Debussy	ドビュッシー
Rachmaninov	ラフマニノフ
Prokofiev	プロコイェフ
Bartok	バルトーク
Toots Thielemans	トゥーツ・シールマンス
Toninho Horta	トニーニョ・オルタ
Joao Gilberto	ジョアン・ジルベルト
Elis Regina	エリス・レジーナ
Antonio Carlos Jobim	アントニオ・カルロス・ジョビン
Ivan Lins	イヴァン・リンズ
Earth Wind & Fire	アース・ウィンド&ファイア
Dori Caymmi	ドーリ・ケイミ
Guinga	ギンガ